

映画『しろうお～原発立地を断念 させた町はいま』（仮） 製作発表

2013年3月4日

映画『しろうお』製作委員会

1: 映画製作への想い～監督より



監督: かさこ

(1975年生まれ、横浜在住)

福島原発事故が起きるはるか以前、原発立地を断念させた町が全国にいくつもあることを、『奔流』第7号(注1)で知り、衝撃を受けました。原子力が輝かしい未来のエネルギーとして喧伝されていた時代に、しかも海外で大事故が起きる前にもかかわらず、金銭的なインセンティブを断ってまで、なぜ原発を拒否したのだろうか。

原発を拒否した町の人たちは、数十年も前になぜ原発事故を想定内のリスクと考えることができたのか。賛成派との激しい攻防はどんな風であったのか。今、原発を断念させた町はどうなっているのか、取材をしたいと思いました。

原発立地を断念させた場所は全国に34カ所あるといいます(注2)。2013年1月、『奔流』編集人の矢間秀次郎氏とともに、原発立地を断念させた三重県紀北町・大紀町の芦浜原発、和歌山県日高町の日高原発、徳島県阿南市の蒲生田原発の3カ所を訪問。反対の立役者となった北村博司氏(芦浜)、濱一己氏(日高)、棕本貞憲氏(蒲生田)ら取材しました。彼らに共通していたのは、自らの生活を守り、子孫に土地や海を引き継いでいくため、自然を守ることの重要性を強く認識していたことです。原発は他の発電方法とは違う破滅的なリスクを抱えていることを学者などから学び、断固として反対運動を行い、原発を阻止したのでした。

私は東日本大震災発生後、福島を中心に何度も被災地に足を運び、被災地や被災者を取材してきました。中でも2012年3月に福島原発20キロ圏内に入り、高放射線量で「死の町」と化した無人の町を見た時の恐ろしさは今でも忘れられません。我が家に帰れなくなった人の話を聞いた時、これは福島の人だけの問題ではなく、遠くない未来に誰もが起こりうる、他人事ではない話だとの思いを強くしました。

東日本大震災から2年。3・11の記憶は急速に風化しています。今後の日本社会のあり方を考える上で、過去に原発立地を断念し、豊かな自然と共生して暮らす人々の姿を映像に残したいと思い、シナリオのもととなった『奔流』編集人・矢間氏とともに、本映画の製作を進めていきたいと思っています。

注1:『奔流』第7号(千曲川・信濃川復権の会・2012年6月7日発行)特集「原発立地計画を『断念』させた町はいま～寄せては返す“開発の波”に引き裂かれた人々を訪ねて～」収録、矢間秀次郎著「中部電力芦浜原発の巻“生涯一記者”を宣言した北村博司さんの勲章」「四国電力蒲生田原発・棕本貞憲さんの『夢』に喜ぶ白魚の群れ」

注2:『原発をつくらせない人びと』(岩波新書、山秋真著)

2: スタッフ紹介

■監督 **かさこ** (1975年生まれ。ジャーナリスト、写真家、写真集13冊。著書『検証 新ボランティア元年』共栄書房刊など18冊。『かさこマガジン』発行人。本作品が初監督デビュー)

■製作・脚本 **矢間秀次郎** (1940年生まれ。小松島市育ち、1993年に映画「あらかわ」萩原吉弘監督・シグロ製作に関与。現在、千曲川・信濃川復権の会共同代表、季刊『奔流』編集人。主な著書『揺るぎの時代を生き抜く』合同出版刊)

■撮影 **中井正義** (1950年生まれ。最近の主な実績に、「大本営最後の指令」2011年、「美濃和紙」2012年)

■録音 **田辺信道** (1952年生まれ。最近の主な実績に、プロデューサー・録音担当「わたしの季節」で、第59回毎日コンクール「記録文化映画賞」受賞、第3回文化庁映画賞大賞受賞。監督・録音担当「ただいまーの声聞くためにー 横田滋・早紀江さんの記録」が、神奈川県教育委員会学校教材に採用)

3: 作品概要



徳島県阿南市椿泊(撮影:かさこ)

東京電力福島第一原子力発電所の過酷事故を踏まえ、真摯に原子力発電所に向き合いつつ、かつて原発立地をめぐる地域闘争で推進派、反対派がともども深傷を負いながら、「原発を止めた町」が日本列島に約32カ所実在する歴史に学び、南海トラフ三連動超巨大地震が憂慮される徳島県蒲生田・和歌山県日高・三重県芦浜を舞台に、「ほんとうの豊かさとは何か」、「真の幸せとは何か」を里人ともに探求するドキュメンタリー映画＜100分予定＞。

4: 舞台と登場人物①和歌山県日高原発 (撮影: かさこ)



漁師・民宿主人: 濱一己氏



日高町名産クエ



原発候補地: 小浦



原発候補地: 阿尾

5: 舞台と登場人物②徳島県蒲生田原発

(撮影: かさこ)



農家: 棕本貞憲氏と蒲生田原発候補地



蒲生田岬と紀伊水道



伊座利漁業協同組合代表理事組合長:
吉野清氏



椿川ヒウオ祭
関係者:
武田豊司氏

6:映画についての取材・問い合わせ先

映画「しろうお」製作委員会事務局

・製作責任者 矢間秀次郎

〒184-0012小金井市中町2-5-13

TEL/FAX0423-81-7770 携帯090-3905-8571

h-yazama@oregano.ocn.ne.jp

・監督 かさこ

kasakotaka@hotmail.com

携帯080-5176-8906

ツイッター:@kasakoworld フェイスブック:kasakotaka

公式ホームページ <http://www.kasako.com/eiga1.html>
(2013年3月中旬オープン予定)